

東京駅周辺高精度測位社会プロジェクト
空間情報インフラの整備・更新の仕組み及びその利活用等に関する提案
募集要項

国土交通省では、高精度な測位環境を構築し、継続的にサービスに活用するための空間情報インフラの整備・更新の仕組みやビジネスモデルの検討を行うこととしています。

つきましては、空間情報インフラを整備・更新するための仕組み、それを利活用するアイデア等の提案を募集します。

1. 提案募集内容

①空間情報インフラの効率的な整備・更新の仕組み、ビジネスモデル等に関する提案

複数の施設管理者等に跨る一定の広域的な公共エリア（不特定多数の人が利用する駅構内や民間企業が所有、管理する商業施設地下空間等、公共性が高い空間を含む）において、空間情報インフラの継続的な更新を可能にする仕組み、空間情報インフラを活用したビジネスモデルのアイデアなどをご提案下さい。

※提案は、全ての空間情報インフラに関するものでも、個別のインフラ（電子地図のみ）に関するものでも構いません。

②高精度な測位環境の利活用アイデアに関する提案

仮に都市部、観光地等で屋内、屋外ともシームレスかつ高精度に位置情報を測位できる環境（測位誤差数 10cm～1m 程度）が整ったと仮定した場合、その環境をどのように利活用したいか、またどのようなサービスが実現したら良いと思うか等のアイデアをご提案下さい。

2. 提出期限

平成 26 年 10 月 6 日（月）17:00（郵送の場合は同日必着）

3. 応募方法

別紙 1 の提案書にご記入の上、電子メール又は郵送で後述の提出先までご送付願います。

また、提案書には提案内容を説明する概要図（A4 サイズ 1 枚）の添付をお願いします。

4. 提案の取扱等

（1）ご応募頂いた提案は、空間情報インフラの効率的な整備・更新の仕組み等の

検討に活用させていただきます。

- (2) 提案書（別紙 1）自体は非公開としますが、このうち、公開対象箇所と記載のある部分については公開を予定しています。なお、公開にあたって匿名を希望される場合はその旨を様式中にご記載下さい。
 - (3) ご提案内容につきまして、後日ヒアリングを実施させて頂く場合がございますが、その際は別途運用検討ワーキンググループ事務局よりご連絡します。
 - (4) ご提案内容を踏まえてビジネスモデルの具体化、サービス実現に向けた検討を引き続き行う場合には、提案者等に運用検討ワーキンググループ^{※1}へご参加頂きます。
 - (5) ご提案内容は、提案者に無断で2次的な使用は行いません。
 - (6) 提出書類に関する全ての知的財産権は提案者に帰属します。なお、ご提出いただいた書類等は検討の終了後、速やかに廃棄致します。
- ※1：東京駅周辺高精度測位社会プロジェクト検討会^{※2}の下に設置する空間情報インフラの整備・更新の仕組みやビジネスモデルの検討を行う会議。詳細は別添「運用検討ワーキンググループ設置要領」参照
- ※2：国土交通省が設置する高精度測位社会に向けた東京駅周辺における先行的なプロジェクトの実施に向けた検討を行う会議。詳細は別添「東京駅周辺高精度測位社会プロジェクト検討会開催要綱」参照

5. 説明会

本募集要項につきまして、下記のとおり説明会を実施します。

○日時：平成 26 年 9 月 25 日（木）17 時 30 分～

○場所：東京都千代田区霞が関 2-1-3

中央合同庁舎第 2 号館 11 階 国土交通省国土政策局会議室

6. お問い合わせ先及び提出先

(1) お問い合わせ先

【運用検討ワーキンググループ事務局】

○国土交通省国土政策局国土情報課 担当：富本、平塚

TEL: 03-5253-8353

E-mail: tomimoto-k2pg あっと mlit. go. jp

※「あっと」はメール送信時に@に置き換えて下さい

○株式会社野村総合研究所 担当：丸田、佐藤

TEL: 03-5533-2931

E-mail: gnewservice あっと nri. co. jp

※「あっと」はメール送信時に@に置き換えて下さい

(2) 提出先

○株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部

担当：丸田、佐藤

住所：〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

E-mail: gnewservice あっと nri. co. jp

※「あっと」はメール送信時に@に置き換えて下さい

以上